

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ、その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護深沢	管理者	池田 愛美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	人	1人	人	2人	人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価しやすい目標設定にする。	ミーティングで評価しやすい目標設定を意識して改善計画の作成を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価に対する新たな取り組みについて確認できる機会がなかったので分からない。 スタッフ同士のコミュニケーションが取れている事業所だと思う。 「伝えていく」「達成していく」「作成する」「調整を図る」「場を増やす」「参加する」「共有していく」等、やる事が計画となっていてその後に目指す事は何なのか書かれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価について学習会を開催し、評価の基準や方法について学ぶ。 項目ごとに何を目指して目標設定したのか明確にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者や事業所に訪れた人が入りやすいような雰囲気作りを行う。	入りやすい雰囲気作りとして、常にコーヒーマーカーでコーヒーを用意しておいたり、いろいろな種類のコーヒーカップを飾り、自分で選んでコーヒーを飲んで頂くようにした。その他、ご利用者と作成した苔玉や畑で収穫したさつまいももテーブルに置くななど家庭的な雰囲気となるよう工夫を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 工夫しながら環境の改善に努めている事が分かった。 子供っぽくない環境が良い。 実際に何う事ができない事が多く、分からない事が多い。 新型コロナウイルスの影響で、訪れる人も少なかつたのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じられるような飾りつけを行う。また、事業所の外も花や畑などで雰囲気づくりを行う。 活動の様子を記録に残し回覧する。
C. 事業所と地域のかかわり	深才ふれあいまつりへの参加を継続。今年度の反省を踏まえ、地域の方が相談しやすい工夫を行う。	今年度は新型コロナウイルスの影響からふれあいまつりが中止となってしまい参加する事ができなかった。来年度に向け作品作りを行っている。また地域の方が	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でもあり、地域住民と交流する機会を確保する事は難しいと思うが、広報などで地域への情報の発信ができたらと思う。 今年度はコロナ関係で地域に出 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に事業所の様子などを広報で発信していく。 先進的な活動をしている事業所（藤沢市や唐津市など）や認知症

		相談に訪れやすい事業所となるよう、雰囲気作りや畑作りに力をいれた。	向けないが、いつでも出られる準備がなされていると思う。 ・コロナ禍でできない事が多かったと思うが、この状況でできる事を考える事も必要だと思う。	にやさしい町大賞を受賞した取り組みなどを学び、情報共有を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	サポートセンター上除で行っているオレンジカフェへ参加し、地域の方との交流や地域の情報収集を行っていく。	今年度は新型コロナウイルスの影響から参加する事ができなかった。	・コロナ禍でもあり、地域住民と交流する機会を確保する事は難しいと思うが、広報などで地域への情報の発信ができたらと思う。 ・事業所の外で楽しめる環境作りに今後も励んで欲しい。 ・「利用者以外の心配な方への関わりについて、そういう事ができる事業所ある事が地域の方に理解されているか？	・地域の方と関係を築くために訪問・送迎時に挨拶や会話を行う。 ・介護のサービスや役割、認知症についてなど、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らせるための情報発信を行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	事業所の取り組みの報告や相談の他、地域の心配な方についての情報共有を行っていく。	ご利用者について、困っている事やご意見を頂きたい事について運営推進会議の議題に上げさせて頂いた。	・地域の課題を吸い上げる作業は容易ではないと思うが、地域と関わる機会が再び訪れた時にどのようにして関わりを持ち会議に活かすか検討できたらと思う。 ・いろいろな意見の出る会議で、地域の声聞きやすい雰囲気。 ・事業所の現状報告が主な内容になっている。もっと事業所の積極的な取り組みの報告があると良い。	・事業所の目標を共有し、目標達成の為の取り組みについても報告し意見をいただく。 ・ご利用者に必要な支援について検討することによって、地域の課題をみつけ情報共有を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルについて見直しを行うと共に運営推進会議でも説明を行っていく。	防災マニュアルの見直しを行い、10月に防災訓練を実施。運営推進会議での説明を11月に予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の為運営推進会議を行わず照会とさせて頂き資料を委員の皆様配布させて頂いた。	・これから冬場に入っていく。積雪量が多い地域なので、非常事態が発生した時に他の職員とどのように連携を図っていくのか話し合う機会を持ってもらえればと思う。 ・隣のデイサービスと共同で計画通り訓練ができていたと思う。 ・資料から取り組みはよく分かった。課題もあったようなので、実際発生した時に使える内容で訓練する事が大事だと思う。	・災害時の対応や連携について防災訓練の中で検討、発信していく。また、運営推進会議で地域との連携についても検討していく。